



2026年3月30日

各位

株式会社 山口銀行

「サステナビリティ・リンク・ローン（YMfgフレームワーク方式）」の 契約締結について

山口銀行（頭取 曾我 徳将）は、株式会社みうら（代表取締役社長 三浦 崇嗣）と「サステナビリティ・リンク・ローン（YMfgフレームワーク方式）」の契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当行は、地域金融機関としてSDGs／ESGへの取り組みを強化し、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取り組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. ローン概要

サステナビリティ・リンク・ローン（YMfgフレームワーク方式）とは、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省「グリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合について、株式会社格付投資情報センターよりセカンドオピニオンを取得しており、お客さまのサステナビリティ経営への取り組みを支援する融資商品です。

2. 企業概要

企業名	株式会社みうら
所在地	山口県周南市野村3丁目24番1号
代表者	三浦 崇嗣
業種	木材加工業
サステナビリティ向上に向けた取り組み等	2027年に創業100周年を迎える当社は、企業理念である「LOVE COMPANY」の精神のもと、安心・安全で住みやすい、また住みたいと思える地域の実現に向け、木を活かした付加価値製品の開発に取り組んでいます。 また、ISO14001認証や中小企業版SBT ^{※1} を取得するなど、環境意識を高く持ち、環境負荷の低減に向けて、本社社屋での省電力LED導入や太陽光パネルの設置といった再生可能エネルギーの活用ならびに木材製品の生産を通じた脱炭素な住宅建設を行っています。 今後も省エネ活動を一層推進し、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

3. 契約概要

契約日	2026年3月30日
融資金額	1億円
期間	3年

4. SPTs^{※2}

設定指標	Scope 1、2 ^{※3} 排出量の削減 (2022年度実績を基準とした、各年度の削減率)	
数値目標	2026年度	2027年度
	▲21.00%	▲26.25%
設定理由	当社は、環境課題に対する高い意識を持ち、SDGsに賛同し、環境に関する国際規格や中小企業版SBT認定の取得をはじめ、積極的に脱炭素経営に取り組んでいます。さらなる取り組みを加速させるため、当SPTsを設定しました。	

5. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「⑤省資源・省/創エネルギーへの対応」「⑥大気汚染・気候変動への対応」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・ 経済活性化への 取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、 地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への 取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 役職員全員の 働きがいへの 取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 (ダイバーシティ&インクルージョン)	 強固な 経営基盤づくり への取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任

- ※1 中小企業版SBT認定：SBTiが認定するパリ協定に整合した温室効果ガス削減目標。中小企業が取り組みやすいよう中小企業版のガイドラインに則り実施。SBTiは世界自然保護基金(WWF)、CDP(旧カーボンディスクロージャープロジェクト)、世界資源研究所(WRI)、国連グローバル・コンパクト(UNGC)による共同イニシアティブ。
- ※2 SPTs(Sustainability Performance Targets)：環境問題や社会的課題の解決に向けたサステナビリティ活動に関する目標。
- ※3 Scope 1：自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出量。
Scope 2：自社で他社から供給された電気・熱・蒸気を使用した事による間接排出量。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

山口銀行 事業性評価部

担当：中原・柳川 TEL：083-223-3448